

高木 悦子 議員（代表質問）

1 平成 26 年度の予算編成について問 う

- (1) 提案理由説明において、平成 26 年度予算編成に触れ、「第四次滑川市総合計画」の順守を始め、幾つかの施策には積極的に取り組んでいくとしている。しかし、平成 26 年 2 月 2 日告示の滑川市長選挙が予定されていることから、新年度予算を計画する上において、政策的経費を極力抑え義務的経費を中心に編成される、いわゆる「骨格予算」の形態をとるべきではないかと考える。平成 26 年度予算編成について、通常予算編成をしようとしているのか、基本的な考え方を問う。
- (2) 想定される歳入をベースに、当初予算で 1 年間の政策的経費を計上してしまうつもりか。市長選挙があることを踏まえて、補正予算で対応する事業予算を何割か残すという考えはないか。
- (3) 平成 24 年度の決算について、市議会決算特別委員会や監査委員による決算審査並びに定例監査で出された意見を、予算編成に反映させることについての姿勢を問う。

2 魚津市の住宅密集地火災を受けて問 う

- (1) 中心市街地では、住宅の壁を共有するなど連なって建設されており、火災の発生時に延焼を免れることが困難である。老朽空き家を適正に取り壊すことは、延焼を食い止め被害を最小限にすることにつながると考えられる。活用できる空き家と取り壊すべき空き家とを区分して、黒部市のような「空き家対策条例」の制定を検討する、公費助成や固定資産税の課税を活用するなど、空き家の取り壊し促進施策を導入すべきではないか。
- (2) 魚津市の火災において、人的被害を最小限に止めた一因として、近隣住民による安否確認・避難誘導などの「共助」が大きかったと報じられている。東日本大震災以降、地震・津波への関心が高くなっているが、地震災害に偏らない自主防災組織の活動や、災害時要援護者見守り台帳の更なる徹底などの対策が必要ではないか。

3 上田市長の視察・研修会への参加について問う

- (1) 平成22年2月の市長就任後、3年10ヶ月の間に種々の勉強会、研修会、視察に参加をされてきたが、視察などの内容は個人の財産ではなく共有して、広く活用されるべきと考える。市議会では委員会・会派の視察などにおいて報告書などを提出しているが、上田市長からも報告書が提出され、情報の共有が図られているのか。
- (2) 数多くの視察、研修に参加をされた中で、滑川市政に反映された具体例があれば明示されたい。

4 上田市長の政治姿勢について

- (1) 4年前の選挙時、「組織に頼らない草の根運動」をすると上田市長は主張され、「上田昌孝後援会」は平成21年9月に解散されている。しかし、今も「上田昌孝を励ます会」という政治団体が存在する。これが上田市長の後援会に該当して、「草の根運動」を言ったことは偽りではないか。「上田昌孝を励ます会」の後援会活動があるのではないか。
- (2) 同じく4年前、「選挙運動費用収支報告書」の寄付者の中に入札参加法人があるという新聞報道を受けて、個人の誤りであったとして、後日、報告書を訂正されたことがあった。市議会議員としての20年間、市長としての4年間、四半世紀に迫る政治家として、「政治資金規正法」を順守するという点についてどう考えるか。

古沢 利之 議員（代表質問）

1 TPPについて

- (1) 改めて市長の見解を問う。
 - ・ これまで「反対」の立場と認識してきたが、9月21日付け北日本新聞の「政策アンケート」では、影響について「どちらともいえない」と回答している。見解が変わったのか。
- (2) その後、農業分野以外への市内産業への影響は検討したか。

2 米の生産調整見直しについて

- (1) 現場では突然の政策変更には戸惑いと不安が大きい。農家・営農組織の収入は確保できるか。今後の対応方針を問う。
- (2) 国民の主食である米の需給と価格に国は責任を持つべきとは考えないか。

3 就学援助について

- ・ 8月から生活保護基準が引き下げられた。今年度は従来基準で対応するとされたが、新年度からの対応を問う。
 - ア 生活保護基準見直しに該当する児童・生徒はどの程度いるか。
 - イ 新年度、援助対象の基準をどうする考えか。準要保護基準を生活保護基準の1.0倍とする考えは変えないのか。
 - ウ 準要保護世帯へクラブ活動費、PTA会費、生徒会費等を援助の対象に含めないのか。

中島 勲 議員（一般質問）

1 市街地の活性化に対する対応について

- (1) 平成25年度で終了する まちなか再生事業の評価と今後の継続についてどのように考えるか。
 - ア 市街地空き地空き家活用支援事業において要件とされる業種を拡大すべきでないか。
 - イ 危険老朽空き家対策事業は他市に比べ対応が後手に回っていないか。
 - ウ 他市からの視察が多いがどのような内容か。
- (2) 提案理由説明で“歴史ある滑川の宿場町”と述べているが、本当にそのような認識を持っているのか。
- (3) まちなか再生には不動産の流動性が必要だが、それを阻害しているものとして何が考えられるか。
 - ア 地籍調査は可能なのか。
 - イ 永代地上権をどのように考えているのか。
 - ウ 民間の専門知識が必要と考えないのか。
- (4) 空洞化、少子高齢化が進んでいる旧町部の防災対策、除雪対策をどのように考えているのか。
- (5) 活性化を推進するには各課にまたがる課題が多いことから、担当するチームが必要と思うが見解は。

2 教育の向上について

- (1) 田中小学校の木造校舎について
 - ア 計画では平成26年度において北側は耐震工事を実施して保存し、東側は取り壊すという方針に変更はないか。
 - イ 保存後の利活用策は考えているのか。

竹原 正人 議員（一般質問）

1 子育て支援について

- (1) 例年、インフルエンザが蔓延し、学級閉鎖等が心配である。本市では高齢者について一律1,000円で予防接種を受けることができる。子どもたちは現在任意で公費負担がない。インフルエンザにかかってしまえば公費負担となり、予防にかけるお金よりも負担が大きくなるのではないか。
子ども第一主義を掲げる本市について違和感を覚えるが、経済的負担を軽減させるために何かできないか。
- (2) 子ども医療費助成について、現物給付、償還払いの2種類があるが、償還払いの手続きの不便さ等見受けられる。改善できないか。
- (3) 本年、日医工スポーツアカデミーにおいて、市内の幼稚園、保育園を対象に「英語で運動！」が開催された。園児たちには好評であったが来年度への取り組みは。

2 学校給食について

- (1) 子どもたちのアレルギー対策や、衛生的な調理場を目指す取り組みについては評価できるが、子どもたちに給食をおいしいと言ってもらえる取り組みをしているのか。
- (2) 地産地消、食育の観点から、本市は地元の食材を20%以上学校給食に取り入れている。
今後も地元農家(生産者)に喜んでもらえる施策を更に増やせないか。また、食の安心安全についての重要性を子どもたちにしっかり伝えているのか。

3 コミュニティバス事業について

- (1) 本議会の補正予算で修繕費が計上されている。経年劣化しているバスは誰が見ても判断できる。今後のランニングコストを含め、新規車両の導入を視野に入れた取り組みについて。

- (2) 日常の足として利用している利用者の目線に立って、現在年末年始の運行は行っていないが、利用促進の観点から、年中無休で運行する余地はないか。バス停についても利用者を優先した停留所が望ましいが、改善の予定はあるのか。
- (3) 本事業の採算が合わないのは充分理解できる。利用増の取り組みも必要であるが、少しでも運行料（維持管理費）の足しになるよう、バス自体を動く広告車として、企業広告などを出してもらえないか。

谷川 伸治 議員（一般質問）

1 シャンバーグ市との交流について

- (1) 本市からシャンバーグ市への訪問経過について
 - ・ 平成9年7月姉妹都市提携調印式から平成12年まで毎年交流。平成12年から平成23年までの期間、本市からシャンバーグ市への訪問が途絶えたのは何か理由があったのか。
- (2) 今後のシャンバーグ市との交流の考え方について
 - ・ シャンバーグ市との交流をどの様に進化させていくのか。
- (3) シャンバーグ市との交流の対象者等について
 - ・ 小学校の高学年または中学校の低学年の子どもたちに異文化交流体験を継続して実施すべきと思うが、その所見を問う。

2 交流人口増加に伴う宿泊施設について

- (1) 本市の宿泊施設に何人宿泊できるのか。ホテル・旅館・青雲閣・S Lホテル等。
- (2) 各種イベント・スポーツ大会の宿泊状況の把握について
 - ・ 本市にほとんど宿泊してもらえない現実を踏まえ、サッカー場・スポーツ健康の森公園の整備に伴い、各種イベント・スポーツ大会を誘致しても、宿泊施設がないと本当の活性化にならないと考える。本市として何か対応策はあるのか。
- (3) 本市の空き家・アパートの利活用策について
 - ア 質が良好な空き家・空き室の多いアパート等を宿泊施設として利活用できないか。
 - イ 官と民との連携が不可欠だが、その所見を問う。

中川 勲 議員（一般質問）

1 通学路の安全対策について

- (1) 東部小学校区の通学路の安全対策は万全か。
 - ア 歩道設置の予算化は出来ないのか、市道北野・浜四ツ屋線における学校グラウンド前から柳原・中村線まで、市道大窪・四ツ屋線における北野地内、市道中野島・坪川線における藤栄・坪川地内
 - イ 市道北野・浜四ツ屋線における旧8号線地下道に、防犯カメラの設置は出来ないのか。
- (2) 既設歩道における凹凸の補修はしないのか。

2 高齢者福祉について

- (1) 2025年には団塊の世代が後期高齢者になるがその対応は。
- (2) いつまでも安心して暮らすにはどうすべきか。
- (3) とともに暮らす地域を目指すにはどうあるべきか。

3 市民に信頼される市職員について

- (1) 市民との対話はあるのか。
- (2) 市民の質問に対し説明は十分か。
- (3) 市民からの意見・指摘事項は上司と相談しているのか。ハウレンソウ（報告・連絡・相談）がきちっとされているのか。
- (4) 職員研修は行われているが効果はあるのか。
- (5) 市民とのトラブルはないのか。
- (6) その場合はどう対応されているのか。

4 ほたるいかミュージアムの施設管理方針について

- (1) 今後、維持管理費はとなると想定しているのか。
- (2) 冷凍冷蔵庫が故障したとのことであるが、なぜ（株）ウェーブ滑川で購入しないのか。
- (3) 市関係の会食はなぜ、レストラン光彩だけで行っているのか。もっと民間経営の施設を利用すべきと思うが。
- (4) 世界文化遺産に和食が登録されたが
 - ア 光彩として今後の取り組みはどうされるのか。
 - イ 農業関係においてもコメ・野菜などが注目されると思うが、今後の取り組みはどうされるのか。
- (5) ほたるいかミュージアムのリニューアル工事は終わったのか。
 - ア 入り口の池に落ちる人がいると聞くが
 - イ 駐車場から入り口まで遠く雨が降ると大変
 - ウ 夜は足元が暗いので危険
 - エ 観光施設から博物館施設に変更できないのか
 - オ 市民の意見を聞くべきと思うが

原 明 議員（一般質問）

1 まちの魅力アッププロジェクトチームの活動について

- (1) まちの魅力アッププロジェクトチームの取り組み内容と提案や企画の実現は
- (2) 今後の取り組みについて

2 新幹線開業に向けての観光振興について

- (1) 滑川市を訪れる観光客の人数と観光客誘致の施策は
- (2) 他市町村との連携と観光ルートや観光資源の整備は
- (3) 氷見市、射水市～滑川市の観光交流と今後について
- (4) 市観光協会企画による「いきいき富山館」での「滑川、深海のめぐみフェア」での成果は

3 農業の振興について

- (1) 人、農地プランの現況について
- (2) 減反廃止による影響と農家、農業を守る施策が重要と考えるが
- (3) 滑川市での飼料用米の作付面積と販路の確保は

開田 晃江 議員（一般質問）

1 福祉について

- (1) 介護サービスの中から紙おむつの支給拡大について
- (2) 福祉利用券の利用の在り方について、事業主などに周知されているか。
- (3) 屋根雪下ろしの補助事業の利用はどのように推移しているか。もっと活用するためにシステムを拡大しては。

2 堀江運動公園について

- (1) 陸上競技場の予定地だった未利用地の今後の活用計画は。
- (2) 今後の計画にどのような制限があるのか。変更は可能か。
- (3) 市内にいろいろなスポーツ施設が完成しつつあるが、子どもたちが雨の日、冬場、また猛暑日の中で体を動かす屋内アスレチック室や軽運動室などを備えた施設は考えられないか。
- (4) トイレの設置を。衛生面を考えるとポータブルでは不適切。
- (5) 公園内の連絡通路に富山地方鉄道の線路が走っている、落橋防止の対策を。

3 交流プラザについて

- ・ 先の議会の市長答弁の中から子ども図書館の見直しがされていると思うがどのようになっているか、現在の進捗状況は。

青山 幸生 議員（一般質問）

1 児童館について

- ・ 基本計画策定の進捗と内容について
 - ア 児童館建設に向けての基本コンセプトについて
 - イ アンケートの結果等について
 - ウ 建設後における幼児および児童向けの教室開催の考え方について
 - エ 休館日の設定と来場者見込みについて
 - オ 児童館建設前・後の子育て世代への告知（アプローチ）策について

2 スポーツ・健康の森公園について

- ・ 来場（園）者の入込み策について
 - ア 素晴らしいコンセプトをもつ、この施設への導線計画について
 - イ この施設への誘導看板の設置について
 - ウ この施設内での物販計画について
 - エ この地域の施設を、よりブランド化するための考え方について

尾崎 照雄 議員（一般質問）

1 火災警報器の設置について

- (1) 本年度、市内で発生した火災は何件か。
- (2) その内、住宅用火災警報器が設置されていた割合はどれくらいか。
- (3) 市内で、住宅用火災警報器が設置されている割合はどれくらいか。
- (4) 住宅用火災警報器を購入したものの未設置の家庭もあると思うが、設置確認はされているのか。
- (5) 市営住宅での設置率はどれくらいか。
- (6) 今後、住宅用火災警報器の設置率をどう高めていくのかその対応、取組を伺いたい。

2 コミュニティバスの通年運行について

- ・ コミュニティバスは、現在12月31日、1月1日、1月2日の3日間が運休となっているが、公共交通機関としての役割を考えた時、市民の生活環境変化に対応して通年運行にならないか。

3 スポーツ・健康の森公園の使用ルールについて

- ・ 本年10月10日より供用開始した滑川市スポーツ・健康の森公園陸上競技場はオープンで開放型施設であるが、本来の目的から外れた利用をされている方もいる。守ってほしいルールを書いた看板など設置してはどうか。

4 市営住宅のケーブルテレビの設置について

- ・ 近年Net 3で放映される番組内容の充実・向上とともに視聴を希望

する市民も増えていると思われる。市営住宅に住む市民が視聴を希望した場合、すぐに見れるような設備環境を整備する必要があると思うが、その対応はどうか。

5 除雪ボランティアについて

- ・ 高齢者や障がい者のいる家庭などの、玄関先やバス停などの除雪を住民の除雪ボランティアで支えあう取り組みを考えてみてはどうか。

水野 達夫 議員（一般質問）

1 滑川市の都市計画について

- (1) 平成 14 年 3 月に策定された滑川市都市計画マスタープランの進捗に関して検証した結果はどうか。
- (2) 平成 18 年度から 3 ヶ年かけて実施した都市計画道路の見直し作業で 16m から 9 m に幅員変更した吾妻町加島町線の事業化の見通しはどうか。
- (3) 空き地空き家が目立つ旧町部の土地利用の方針はどう考えているのか。
- (4) 今年度、富山県が実施している都市計画基礎調査の状況はどうか。
- (5) 人口減少・少子高齢化が進む中、生産年齢人口が年々減少することにより税収の確保も難しくなるこれからの時代を見据えた上で、新都市計画マスタープランを策定すべきだと思うがどうか。

2 協働のまちづくりについて

- (1) 第 4 次総合計画の重点プロジェクトにも掲げられている「市民との協働プロジェクト」の進捗状況はどうか。特に、「協働を推進するための組織・機構の整備」、「協働のまちづくり指針の策定」についての考えはどうか。
- (2) 地域ぐるみ除排雪活動の推進について、小型除雪機械導入の支援だけでなく他の方策はないのか。例えば、高齢者世帯等の除排雪支援体制の仕組みづくり（地域やボランティアの協力が不可欠）が必要ではないか。

3 養鶏場建設計画の現状と水源地の保護について

- (1) 先の 6 月定例会で確認した以降、魚津市鹿熊地内における養鶏場建設計画について新しい動きはあるのか。
- (2) 富山県水源地域保全条例に基づき、滑川市の上水道の水源地を水源地域に指定してもらえよう 10 月に富山県へ要望したと聞いている。現時点での富山県の考え方や作業状況は把握されているか。

浦田 竹昭 議員（一般質問）

1 命の大切さを学ぶ教室の実施について

- (1) 小・中学校のいじめの現状並びに対策・対応について
- (2) 小・中学児童・生徒に関わる交通事故の現状並びに対策・対応について
- (3) 小・中学校において、警察との連携のもとでの『命の大切さを学ぶ教室』の実施の検討について

2 農業を取り巻く諸課題について

- (1) 平成 25 年産の稲作の収穫量並びに品質の評価について
- (2) 農地標準賃借料の単価の算出方法と決定プロセスについて
- (3) 各地区における、農地標準賃借料のアンバランスについて
- (4) 実際の農地賃借料金の算定期と決定プロセスについて（米価との関連）
- (5) 農政の変革に対応した、情報提供並びに説明・周知について

3 中山間地域のインフラ整備について

- (1) 中山間地域のインフラ・道路整備についての現状と進捗並びに今後の予定について
 - ア 東部山麓道路（早月川左岸道路）の改良事業について
 - イ 虎谷大榎線（現道拡幅）道路改良事業について《上大浦地内》
 - ウ 蓑輪滑川インター線（現道拡幅・歩道設置）道路改良事業について《開地内》
 - エ 滑川自然公園線（現道拡幅）道路改良事業について《田林、東福寺地内》

角川 真人 議員（一般質問）

1 介護保険について

- (1) 介護用品支給事業として、おむつ等の購入費を助成しているが、その対象を現在の要介護4、5から拡大する考えはないか。また、この制度を利用されている方が88名と聞くが、この数をどのようにとらえているか。
- (2) 介護者交流事業を毎月行うことはできないか。その会場は介護施設では参加しにくいことから、考慮する考えはないか。また、男性介護者同士で交流できる場も同様に開催できないか。
- (3) 後期高齢者だけでなく、若年性認知症の滑川市の実態は把握しているのか。

2 防災について

- ・ 11月25日の魚津市での火災を踏まえて、富山県東部消防組合では近隣住宅の警報器に連動するタイプのものを検討していると聞くが、滑川市としてはどのような取り組みをしていくのか。

